

**令和6年度
一般選抜(前期日程)
文化学科
[言語文化系／地域文化創造系]
小論文
問題・出題の意図・採点評価基準**

令和6年2月25日

高知県立大学

I 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

（配点100点）

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典：安田敏朗『「国語」の近代史 帝国日本と国語学者たち』中央公論新社、2006年
（出題の都合上、出典の文章を一部省略、改変した。）

注：

版図 一国の領域。領土。

羈軛 束縛すること。

国民国家 同一民族または国民という意識によって形成された國家。

問1 筆者が本文中で説明する「書きことば」の特徴と歴史的展開について、400字以内の日本語でまとめなさい。

（配点50点）

問2 本文中では「話しことば」と「書きことば」の歴史的な有り様について書かれていますが、現代における「話しことば」と「書きことば」の関係性についてのあなたの意見を、具体例をあげて400字以内の日本語で述べなさい。

（配点50点）

<出題の意図>

文化を学ぶうえでは、人文諸科学に通ずる問題を理解し、主体的に問題にかかわっていくことが重要な意味をもっている。「書きことば」に対する筆者のとらえ方を理解し（問1）、現代における「話しことば」と「書きことば」の関係性について自らの考えを論理的に記述する（問2）ことを求める。

<採点評価基準>

問1 「書きことば」について、課題文の筆者のとらえ方を理解できているか（読解力）、課題文の筆者の主張をわかりやすくまとめられているか（文章表現力）などの能力をみる。

問2 内容理解に基づいて、具体例とともに自説を展開しているか（知識・理解力）、適切な言葉を用いて論理的に表現できているか（論理的思考力）をみる。

このページには問題はありません。

次のページに進んでください。

Ⅱ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

（配点 100 点）

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典：Geoffrey K. Pullum, *Linguistics: Why It Matters*, Polity Press, 2018

（出題の都合上、出典の文章の一部を改変した。）

注：

allegedly 伝えられるところでは
plagiarize (他人の文章・アイデアなどを)盗用する
make up (嘘などを)でっちあげる
supposedly 一般に考えられているところでは
Danish デンマーク(人、語)の
cozy 居心地のよい
give off 発する
imagery 心象
snuggle 寄り添う
Denmark デンマーク
evoke 呼び起こす
Dane デンマーク人
carry over 移る
first-hand 直接の、現場の
linguistics 言語学
neuroscience 神経科学
clarify 明らかにする

問1 筆者は“untranslatable words”についてどのように述べていますか。課題文の内容に即して、200字以内の日本語で説明しなさい。

(配点 50点)

問2 筆者は“untranslatable words”の一例としてデンマーク語の“hyggelig”を紹介しています。日本語にもそのような語がいくつかあります。「わび・さび」はよく知られていますが、ほかにも「木漏れ日」「甘える」などのような例があります。これらの語の意味を他言語の話者に説明する場合、どのような工夫が必要でしょうか。課題文に示された筆者の視点をふまえて、また具体例をあげながら、あなたの考えを150語程度の英語で書きなさい。

(配点 50点)

<出題の意図>

- 問1 他言語への翻訳可能性について書かれた課題文を正確に読み取ることができているかどうかを見る。
- 問2 課題文の内容に基づいて、翻訳できないとされる語の問題について、適切な例を示しながら、自分の考えを文法的に正しい、論理的で分かりやすい英文で記述できているかどうかを見る。

<採点評価基準>

- 問1 次の点を見て評価する。
- (1) 課題文の内容を正確に理解することができるか（読解力）。
 - (2) 課題文の筆者の考えを、適切な文章で表現できているか（文章表現力）。
- 問2 次の点を見て評価する。
- (1) 課題文の理解に基づいて、具体例をあげながら論述できているか（読解力、知識・理解力）。
 - (2) 自分の意見を、論理的かつ的確に表現することができるか（論理的思考力、文章表現力）。